

## 漢字が書けない中学生

教科書に出てくる漢字のうち、中学生が正しく書き取れるのは全体の三割に満たないことが、教育シンクタンク「ベネッセ教育研究開発センター」の調べで分かった。東京都の公立中に通う中学生 2 千人に行った「国語の学習に関する調査」で、漢字テストの平均が百点満点中 27.8 点という結果が出た。

同時に行ったアンケートで「国語が得意」と答えた生徒ほど高得点となる傾向が見られたものの、「とても得意」とした生徒でも平均が 42.8 点、「まあ得意」と答えた生徒は 33.4 点との結果であった。同センターでは、漢字の“読み”“書き”どちらも重要とされてきた学校の漢字教育が、現行の学習指導要領から“読み”優先へと変更されたことが漢字の書けない生徒を増やす原因となっており、きわめて深刻な状況にあると憂えている。

この他、調査では 76.5%の中学生が「中学生の言葉は乱れている」と感じており、「難しい言葉は覚える必要がない」とした生徒は 17.1%に止まった。しかし、8 割の生徒が「国語は上手な勉強の仕方が分からない」としており、漢字テストの下位層となるほどこうした思いが強くなり、逆に高得点の層ほど「小さいころから親が本を読んでもくれた」「親が家でよく本を読んでいる」などの回答が目立つ傾向が見られた。